

区 分	専門基礎系科目 コミュニケーション	科目名	コミュニケーション論Ⅱ (異文化コミュニケーション)			教員名	中 山 仁			
開講年次	2年次通年	必修 選択	別	選 択	授業形態	講 義 実 習	単位数	2	時間数	60時間

授業の概要

さまざまな文化的背景を持つ人々とコミュニケーションを図るための基本的な態度を身につける演習を行う。また、コミュニケーション・ギャップが生じた場合に、原因となる文化的背景や思考パターンをいかに正しく理解し、問題解決に導くかという点についても学ぶ。授業では、テキストを読んで異文化コミュニケーションの実際とその背景を理解するための概念を学ぶと同時に、ビデオ教材も活用して、異なる文化的背景を持った人々の意見について考える。また、学生間の違いをより広い意味での「文化」という観点から理解する機会を与え、学生それぞれの立場から活発な意見を交換する活動も行う。

学習目標

一般目標

- ①英文資料や映像資料から異文化コミュニケーションの理解に役立つ概念や考え方を学ぶ。
- ②英語圏をはじめとするたの文化圏の人々との言語コミュニケーション・スタイルについて理解する。
- ③日本人および自分の価値観・思考パターンを客観視するための態度を養う。

行動目標

- ①異文化で起こっている事態について、その文化的背景に強い関心を持つようになる。
- ②それぞれの文化に優劣をつけるのではなく、文化を相対的に捉える態度を養う。
- ③自己と他の人々の価値観・思考パターンの違いを意識化し、理解することができる。
- ④自己理解を深める。

授業内容（学習項目）

回	項 目	内 容（キーワード等）
1	Course Overview	Introduction
2	Culture and identity (1)	Culture, Identity etc.
3	Culture and identity (2)	Socialization
4	Hidden Culture (1)	Hidden culture
5	Hidden Culture (2)	Perceptiveness
6	Stereotypes (1)	Stereotype
7	Stereotypes (2)	Generalization
8	Words—communication gaps (1)	Messages behind words
9	Words—communication gaps (2)	Messages behind words
10	Communication without words (1)	Nonverbal communication
11	Communication without words (2)	Gesture, Body language etc.
12	Diversity (1)	Discrimination
13	Diversity (2)	Similarities and Differences
14	Perception	Describing and interpreting
15	まとめ	
16	Communication styles (1)	Directness
17	Communication styles (2)	Use of silence
18	Communication styles (3)	Cognitive styles
19	Communication styles (4)	High/Low context culture
20	Values (1)	Personal values
21	Values (2)	Cultural values
22	Deep culture—Beliefs and Values (1)	Beliefs, Values etc.
23	Deep culture—Beliefs and Values (2)	Individualism and collectivism
24	Culture shock (1)	Culture surprise/stress
25	Culture shock (2)	Culture shock/adaptation
26	Polite fictions (1)	Feeling of equality
27	Polite fictions (2)	The American/Japanese way of thinking
28	Japanese culture (1)	Rediscovering “cool” Japanese culture
29	Japanese culture (2)	Developing self-awareness
30	まとめ	

テキスト

教室で指示をする。

成績の評価方法

演習点、定期試験および授業の準備状況、授業への参加度・貢献度等を総合して評価する。

教員から学生へのメッセージ

この授業を通して、①心の広い医大生になる、②自分の失敗を笑えるようになる、③自分も変人かもしれないけれど、別に不思議なことではないと思えるようになることを期待しています。